

令和 8 年度
学校関係者評価委員会議事録

1. 開催日時 令和 8 年 6 月 1 3 日（土） 午後 2 時 5 5 分～

2. 開催場所 中央医療技術専門学校 4 号館 2 階 会議室
東京都葛飾区立石 3 丁目 5 番 1 2 号

3. 学校関係者評価委員定数 6 名

4. 出席者（5 名） 学校関係者評価委員

委 員 長 神田 吉也 : 卒業生

(アサヒメデイカル株式会社顧問)

委 員 柳田 智 : 関連教育機関関係者

(つくば国際大学医療保健学部診療放射線学科教授)

平野 雄二 : 臨床実習施設関係者

(筑波大学附属病院放射線部診療放射線技師長)

菅 勝幸 : 医療機器製造・販売関係者

(株式会社六濤東京営業所)

福田 昌弘 : 在校生保護者

(医療法人財団岩井医療財団岩井整形外科内科病院

検査部放射線技術科課長兼技師長)

(委員以外の出席者)

内部評価委員会

委 員 長 横田 浩 (学校長)

委 員 小川 雅之 (教務部長)

中島 正弘 (教務課長)

河合 繁 (学生課長)

池田 信昭 (学校総務課長：事務長)

宮田 道夫 (法人事務局長)

岸 千春 (法人事務局次長：財務担当)

学校法人中央医療学園

理 事 長 森重 美三男

監 事 志田 潤治

5. 欠席者（1 名） 学校関係者評価委員

副委員長 伊丹 重貴 : 学校運営に関する有識者

(株式会社トキワ薬品化工取締役社長)

6. 議 案

1. 令和7年度学校自己評価報告について
2. その他

7. 議事録署名人 柳田 智 平野 雄二

8. 配布資料
1. 令和7年度 学校自己評価報告書
 2. 応募数と入学者推移
 3. 入学から卒業・国家試験合格の推移
 4. 国家試験合格率
 5. 自己評価ポイント比較表
 6. 過去5年間の収支（事業活動収支計算書より抜粋）
 7. 中央医療技術専門学校 HP アクセス分析

会議に先立ち森重理事長から挨拶があった。

【理事長挨拶要旨】

○内部評価の目的について

- ・評価結果をまとめ、今年度及び来年度（大学開学年）の運営に活かしていく方針である。

○学生アンケート結果を、スライドを使用し説明する。

- ・学生アンケート結果を令和3年からの推移の報告があった。
- ・学生アンケートは5段階評価で実施しており、令和7年度後期の授業に対する総合満足度は88.8%であった。前期（89.8%）からはやや低下している。なお、著しく低い評価が複数年にわたり続く非常勤講師に対しては勇退を求めるなど、学校運営の改善に努めている。

○大学設置の進捗状況について、スライドを使用し説明する。

文部科学省の大学設置の認可について

- ・昨年の10月に大学設置認可申請を行った。来年の4月の開校を目指している。
- ・当専門学校は東京都の所管であるが、大学は文部科学省の所管になる。
- ・教員審査について、合計11名の教授も認可済みである。
- ・設置等の趣旨、学生の確保や実地審査（横須賀校舎の2度の現地審査）など様々な審査を受け、8月下旬の正式認可を目標に進めている。

横須賀校舎の施設整備について

- ・旧 NEC 研究所の校舎改築工事のスケジュールについては、当初は昨年9月の着工を予定していたが、請負業者の都合により、本年4月に着工する運びとなった。なお、竣工時期については、予定どおり本年12月としている。
- ・6月11日時点で、進捗状況：出来高 26%であり、順調である。

学生募集について

- ・認可前のため制限はあるが、アプリ活用（スタディサプリ等）、高校訪問（42校）、ラッピングバス、駅看板（横須賀中央駅等）での広告を展開中である。

本日は、令和7年度学校自己評価の結果が出ましたので、皆様にお集まりいただき評価をいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。
との挨拶があった。

その後、委員長は委員会成立事項報告を求めた。

学校関係者評価委員会成立事項報告（宮田道夫法人事務局長）

本日の委員会は、委員6名のうち5名が出席しており、学校関係者評価委員会規程第7条1項に定める出席委員数を満たしており学校関係者評価委員会が成立することを報告する。本日は規程第8条により、委員以外の者に出席を求め意見を聞くということで、学校内部評価委員8名が同席をする。また、学校法人中央医療学園の志田監事が同席した。

委員会の事務について、規程第10条に本校の教務部において処理するとあるが、本日は、法人事務局が担当する。議事録を作成するにあたり本会議の内容を録音するとの発言があり出席者全員がこれを承認した後、神田委員長に議事の進行を依頼した。

神田委員長が議長となり、議事録署名人に、柳田智委員と平野雄二委員を指名し、両名が承諾し議事に入った。

議長は令和7年度学校自己評価報告について、まず内部評価委員の説明を受けて、その後、質疑応答等により学校関係者評価委員が評価することとした。またその方法として事前に各委員には令和7年度学校自己評価報告書が配布されていることから、重点的な事項や要点について評価項目ごとに内部評価委員に説明を求めた。

内部評価委員長（横田学校長）より、令和7年度学校自己評価報告の概要について説明があり、評価項目ごとに以下のとおり内部評価委員から説明があった。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 教育理念・教育目標 | 横田 浩（学校長） |
| 2. 学校運営 | 宮田 道夫（法人事務局長） |
| 3. 教育活動 | 中島 正弘（教務課長） |
| 4. 学修成果 | 中島 正弘（教務課長）、 |
| 5. 学生支援 | 河合 繁（学生課長） |
| 6. 教育環境 | 池田 信昭（学校総務課長：事務長） |
| 7. 学生募集と受け入れ | 横田 浩（学校長） |
| 8. 財務 | 岸 千春（法人事務局次長：財務担当） |
| 9. 法例等の遵守 | 小川 雅之（教務部長） |
| 10. 社会貢献 | 小川 雅之（教務部長） |
- ・配布資料「中央医療技術専門学校 HP アクセス分析」について
横田 浩（学校長）

議長は、評価項目ごとに質疑応答を求めた

【質疑応答】

1. 教育理念・教育目標について

- (質) 英会話教室NOVAより外国人講師を招いた英会話の授業について、学生からの評価は、どのようなものか。(平野)
- (答) 学生アンケートでは、外国人講師による英会話授業は概ね好評との評価であった。(横田)
- (質) グループ研究について、学生はどのような内容のものを選んでいるのか。(神田)
- (答) グループ研究のテーマについては、まず学生にどのような研究を行いたいかを確認している。その上で、内容の実現可能性を検討し、必要に応じて当該分野に詳しい教員に相談している。実施可能と判断されたテーマを採用する形で研究を進めている。研究内容は、画像系、核医学、放射線治療など多岐にわたり、幅広い分野を対象としている。(中島)
- (質) そうすると、学生の自主性を引き上げて、研究をさせるというようなスタンスを取っているのか。(神田)
- (答) 学生の自主性を高め、自ら研究に取り組めるようにすることを目標としている。ただし、学生は研究経験が十分ではないため、現状では教員が方向性を示しながら研究を進める形となっている。(中島)
- (質) 教育理念の評価は良いが、新たに考えている改善方策はあるのか。(福田)
- (答) 教育理念そのものは毎年変更するものではないが、教育内容のさらなる充実に向けた改善方策として、経営マネジメントに関する教育や英会話教育の充実を検討している。(横田)

2. 学校運営について

- (質) 今後の検討課題で、ファイルサーバー、共有フォルダを新しく整備したとなるが、ファイルサーバーはハードウェアなのか。(柳田)
- (答) 新たにハードウェアを導入したものではなく、既存のハードウェアの容量に余裕を持たせるため、共有フォルダの整理・再編を行ったものである。(宮田)
- (質) 大切なデータもあると思うが、最近ではクラウドもサブスクリプション型で比較的安価に利用できるため、セキュリティ面なども考慮しつつ、クラウドへの移行を検討してもよいのではないか。(柳田)
- (答) 現在使用しているサーバーは5年前に更新したものであり、更新時期を迎えている。一方で、大学構想全体の中でどのような情報基盤を整備していくかについても検討を進めている。今後は、サーバーの更新に要する費用とクラウドサービスの利用費用を比較検討するとともに、セキュリティや運用面も踏まえながら、最適な方法を選択していく。(池田)

3. 教育活動について

- (質) 資格取得の指導体制というのは、診療放射線技師国家試験のことだけをいうのか、それとも他の試験も含めた体制のことか。(柳田)
- (答) ここでいう資格取得の指導体制は、診療放射線技師国家試験に関するものではなく、放射線取扱主任者の資格取得に向けた指導体制を指している。(中島)
- (質) エックス線作業主任者の資格を取得しておく、仮に退学した場合であっても就職に活

かすことができるため、そのような資格の取得を勧めてもよいのではないか。(柳田)

(答) 昨年度に退学した学生の中に、企業へ就職した後にエックス線作業主任者の資格を取得した事例があった。資格取得は学生の将来の選択肢を広げることにもつながることから、今後の取得推奨について検討していきたい。(中島)

(意見) エックス線作業主任者の資格を取得することで、学生の学習意欲の向上が期待できると思われる。また、診療放射線技師国家試験に向けた学習への動機付けにもつながることから、資格取得支援について検討いただくことをお勧めする。(柳田)

(答) 卒業に至らなかった学生であっても、エックス線作業主任者の資格を保有していることで、就職活動において有利に働く場合がある。そのため、学生のモチベーション向上や将来の選択肢の拡大につながるよう、今後は同資格の取得を積極的に勧めていきたい。(河合)

(質) 国家試験対策で使用している Monoxer[®]をどのくらい使用しているか。(平野)

(答) Monoxer[®]については、以前使用していた教材等と比較して、学習状況に対するフィードバック機能があることから、その点を活用している。実際に継続して利用している学生については一定の学習効果が見られると考えている。一方で、積極的に利用する学生と利用しない学生との間に差が見られるため、今後は学生間で利用状況に偏りが生じないよう取り組みしていきたい。(小川)

4. 学修成果について

(質) メンタルの弱さに起因する退学や不登校に対し、専門のカウンセラーを設置しメンタルケアを行っているとはあるが、どのくらいの利用があるか。(神田)

(答) カウンセラーの利用状況については、利用者が全くいない月もあるが、平均すると月に1～2名程度が利用している。相談体制としては、月4回のカウンセリングを実施しており、その内訳は対面相談2回、オンライン相談2回となっている。また、カウンセラーに確認したところ、近年はメンタル面に不安を抱える学生が増加する傾向にあるとのことである。(岸)

5. 学生支援について

(質) 就職試験で、少ない募集に多くの学生が集まるため就職支援も大変だと思うが、何か学校で対策は立てているか。(福田)

(答) 就職支援については、一定の成績を修めている学生から順次就職活動を進めるようにしている。一方で、都内の病院の採用試験においても、地方の学生が多数受験に訪れるなど競争が激しくなっており、就職先の確保に苦慮している状況である。今後も学生一人ひとりの状況に応じた就職支援に取り組んでいく。(河合)

(意見) 国公立の病院は雇用延長があったので、新卒の就職は難しい。学会活動などを利用して就職支援をしているが、こちらも難しくなっている。(柳田)

(質) 保護者会の出席率はどのくらいか。最上級生全員が対象か。(柳田)

(答) 保護者会の対象者は最上級生全員ではなく、9月に実施される医用放射線試験において合格点に達していない学生を対象としている。(河合)

(答) また、留年生については、成績の良否にかかわらず保護者会への参加対象としている。留

年生は成績が良くても保護者会に来てもらう対象となっている。(小川)

6. 教育環境について

(質) 最近では異常気象による災害が話題になっているが、企業などにおける BCP（事業継続計画）のような対策を学校では立てているか。(神田)

(答) 現時点では、学校として BCP（事業継続計画）に相当する計画や対応は整備できていない。今後の検討課題として認識している。(池田)

(意見) 学校として責任を問われかねない事象が発生する可能性もあるため、訓練の実施が難しい場合であっても、計画的に危機管理に関する情報を共有できる体制づくりが必要である。(神田)

(答) 学生に対しては、動画視聴やポスター掲示などを通じて危機管理に関する周知を行っているが、十分ではないと認識している。今後は、学生だけでなく教職員も含めて危機管理意識を共有できるよう、周知方法や体制について検討を進める。(池田)

(意見) 某大学では、学生の安全確保を目的として、不審者対策のために ID カードによる入退室管理を実施している。また、オープンキャンパスでは保護者が安全管理体制にも注目している。さらに、出欠管理をはじめとした授業運営の DX 化を進めている学校も増えていることから、大学化に向けて、校内の安全対策や授業の DX 化についても積極的に検討してほしい。(柳田)

(答) 本校の建物は元研究所として使用されていたものであり、各階にセキュリティ機能が設置されている。既存の設備を有効活用することで、校内の安全対策の強化を図ることは可能であると考えている。今後、大学化に向けた環境整備の中で、安全管理や DX 化の推進についても検討していきたい。(森重)

7. 学生募集と受入れについて

質疑応答特になし。

8. 財務について

(質) 学生募集が厳しい状況にある中で、大学運営に必要な資金は確保できているのか。(神田)

(答) 大学の認可申請において、リスクシナリオを含めた完成年度までの資金収支計画を提出している。来年度に予定どおり大学が開学した場合、当初は大学が 1 学年のみのため、専門学校と大学を並行して運営する期間は、財務面で慎重な管理が必要となる。専門学校については、退学者の抑制や経費削減等に取り組みながら運営を維持していく考えである。また、大学については試算上、学生数 300 人程度が損益分岐点となる見込みであり、できるだけ多くの学生を確保できるかが今後の重要な課題である。(岸)

9. 法令等の遵守について

(質) 若年層による犯罪の増加が懸念されるが、学校として犯罪防止に向けた注意喚起はどのように行っているのか。(菅)

(答) 警察等の関係機関から配付される啓発チラシを校内に掲示するとともに、学生向け

Dropbox 掲示板に注意喚起用の動画を掲載し、犯罪防止に関する情報提供を行っている。

また、学生が犯罪に巻き込まれないよう継続的な注意喚起に努めている。(横田)

(意見) 教育機関としてどこまで対応すべきか、という難しい側面はあるが、近年は若年層が犯罪に巻き込まれるリスクが高まっていることを懸念している。将来ある学生を預かる立場であることを十分に認識し、犯罪被害や犯罪加担の防止に向けた注意喚起や指導など、引き続き適切な対策に努めていただきたい。(神田)

(質) AI の活用について、学校として利用方法をどのように考えているのか。レポート作成などにおいて利用制限を設けているのか。(柳田)

(答) 授業や実習においては、単純な調べ学習ではなく、より考察や応用が求められる内容となるよう工夫している。その過程で、学生がインターネットで情報収集を行う際に、結果として AI を活用してレポートを作成することもあると考えている。AI の利用については、一律に制限するのではなく、学生が適切に活用しながら学習を深めることも重要であると考えている。現時点では AI 利用に関する具体的なポリシーや運用ルールについて検討を進めている段階であり、今後の状況を踏まえながら整備していく予定である。(中島)

10. 社会貢献について

(意見) 評価項目「教育資源を有効活用した社会貢献」の自己評価が「3」となっているが、これまでも地域活動や各種事業等において学校施設や教育資源を有効に活用してきた実績があると認識している。その点を踏まえると、個人的には評価を「4」としてもよいのではないかと考える。今後は、これまでの取組実績をより積極的に評価へ反映することも検討していただきたい。(柳田)

以上の説明及び質疑応答の後、神田委員長の要請で、委員以外の学校関係者は退室し、学校関係者評価委員で総評に入った。纏まった総評を、神田委員長より学校側に述べた。

【神田委員長総評】

本日、内部評価委員会からの報告を受けた。少子化が進行し、学生確保がますます困難となる中であって、学校運営は概ね良好に行われていると評価する。特に、3年後の開校が予定されているという厳しい状況にありながら、財務面及び教育面の双方について適切な運営がなされているとの報告を受け、高く評価している。これらの成果は、教職員の皆様が日頃から教育活動をはじめとする学校運営に真摯に取り組んできた結果であると考えてる。

また、本日話題となった SNS 等による情報発信については、委員からも「ホームページが非常に良くできている」との評価があった。学校の魅力発信や学生募集にも大きく寄与しているものと思われる。今後の大学開設に当たっても、引き続き魅力的で質の高いホームページの作成と情報発信に努めていただきたい。

一方で、今後改善を期待する事項として、以下の3点を申し上げる。

第一に、診療放射線技師国家試験の合格率が低下したことについてである。本校は診療放射線技師を養成する教育機関であり、学生が国家試験に合格し、資格を取得して初めて専門職として活躍することができる。教職員の皆様には、今後さらなる指導の充実を図り、国家試験合格率の向上に向けて一層尽力していただきたい。

第二に、AI の活用が急速に普及している現状を踏まえ、学生及び教職員が適切に利用できるよう、AI 利用に関するポリシーを早期に策定していただきたい。

第三に、学生の安全・安心を確保する観点から、情報セキュリティや安全管理に関する体制整備を進めていただきたい。特に、情報セキュリティポリシー等については早急に整備し、適切な運用を図ることを期待する。

以上をもって、学校関係者評価委員会の総評とする。最後に、学校及び教職員の皆様のさらなる発展とご活躍を祈念し、閉会の挨拶とする。本日はお疲れ様でした。

委員長は、他に質疑の有無を諮ったが特になく、本日の学校関係者評価委員会を終了した旨を述べ午後５時２５分に閉会した。

以 上

本議事録記載事項について、正確であることを証するため委員長及び議事録署名人は各署名する。

令和８年６月１３日

委 員 長 氏 名

議事録署名人 氏 名

議事録署名人 氏 名

以 上